

## 1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、朝方は地銀・信託・証券業態から0.07%付近、大手行から0.06%近辺のビッドが見られ、出し取り一巡後は動意に乏しい展開が週を通して続いた。また、3月に入ったせいも、普段は出し手側の地銀からビッドが見られる場面もあった。大規模なストレステックは見られなかったため、無担保コールO/N加重平均は0.07%台前半と、先々週と比較して若干低下した。固定金利方式の共通担保資金供給オペは13日に3M物が8,000億円オファーされ、応札は1,185億円にとどまった。オペの落ち分が8,002億円あったことを考えると、資金需要の弱さが際立つ結果となった。米ドル資金供給オペは11日に1W物がオファーされ、100万ドルの応札があった。10、11日に金融政策決定会合が開催され、大方の予想通り、政策の現状維持が決定された。

今週は、新しい積み期間に入る。資金需給要因としては、17日にTB3M・2Yの発行超過要因、20日に国債の大量償還・利払いがある。一定の資金需要はみこまれるものの、国債の大量償還日を控え、取り急ぐ動きは見られないだろう。当座預金残高はさらに積みあがる週になると推測される。無担保コールO/Nは0.07%台前半程度での推移となろう。

## 2. オープン市場

先週の短国市場は、毎週2兆円の短国買入オペがコンスタントに実施されていることに加えて、期末決算による短国ニーズの強まりから、週初10日から12日までは、3M物は0.025%程度の低水準で推移した。ただし、レートが下がりにすぎたと感じる向きもあり、0.02%台の出合いは一巡。13日の3M物入札以降は、0.03%以上の水準に切り上がった。13日の3M物入札は、午前中のWI取引で0.026~0.027%で大きく出合ったものの、結果は、平均落札利回0.0288%、按分落札利回0.0340%、按分比率87.5441%と甘い内容になった。14日に実施された短国買入オペは、オファー額2兆円、平均利回較差+0.004%、按分利回較差+0.002%、按分比率90.9%、と小甘い結果になった。週末の気配は、新発3M0.030~0.040%、6M0.020~0.030%、1Y0.030~0.040%となった。

先週のCP市場は、週間の償還総額 9,300億円に対し、電気、石油、鉄鋼、ノンバンク、小売業態からまとまった発行があったものの、3月末越えの資金調達ニーズの弱まりもあり、発行総額は8,600億円強と下回った。市場残高が伸び悩んでいること、短国の利回低下の影響もあり、一部の銘柄で、多少の利回低下が散見された。利回水準は、a-1+格銘柄で0.08%、a-1格銘柄では0.09~0.10%中心の取引となった。

今週の短国市場は、18日に1Y物、19日に3M物、20日に2M物が予定されている。短国ニーズは引き続き堅調ではあるものの、連日の発行で按分利回りがやや甘く流れる可能性も考えられる。CP市場は、17日にCP等買入オペが5,000億円予定されている。前回同様1,000億円増額の影響と応札可能額を考慮し、按分利回りが上昇するか、下降するかを見極める必要がある。

## 3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で3,000億円程度の発行超見通し。財政資金は、20日の国債大量償還・利払いを中心に3兆3,500億円程度の払い超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で3兆500億円程度の資金余剰を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。<17日>TB3M;償還47,300億円・発行57,000億円/2Y;償還14,300億円・発行29,000億円/個人向け3Y・5Y・10Y発行合計2,400億円<20日>TB1Y;償還16,000億円・発行25,000億円/5Y;償還49,800億円・発行27,000億円/10Y;償還66,200億円・発行24,000億円/20Y;償還4,000億円・発行12,000億円/30Y;発行6,000億円/エネルギー対策借入;新規4,000億円

2014年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
3/17 (月)	1,000	△ 29,500	△ 28,500	全店共通(固) CP買入 ETF買入	△ 8,000 △ 700	1,200	△ 7,400	△ 35,900
3/18 (火)	△ 1,000	2,000	1,000	短国買入 貸出増加支援		100 20,000 35,000	55,000	56,000
3/19 (水)	△ 1,000	3,000	2,000				0	2,000
3/20 (木)	△ 2,000	58,000	56,000	CP買入 国債買入		5,000 5,700	10,700	66,700
3/21 (金)	春分の日							
週間合計	△ 3,000	33,500	30,500		△ 8,700	67,000	58,300	88,800

(注) 上表の3/17は日銀予想、3/18以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
3/17 (月)	月例経済報告 (内閣府、関係閣僚会議終了後)		2月の米鉱工業生産・設備稼働率 2月のユーロ圏消費者物価指数改定値
3/18 (火)		TB1Y 25,000億円 3/20発行	米FOMC (1日目) 2月の米消費者物価指数 2月の米住宅着工件数
3/19 (水)	2月の貿易統計 (財務省 8:50) 1月の景気動向指数改訂状況 (内閣府 14:00) 国際通貨研究所主催・国際金融シンポジウムにて黒田総裁講演 滋賀県金融経済懇談会にて木内審議委員講演 ジャパン・ソサエティNYにて佐藤審議委員講演	TB3M 57,000億円 3/24発行	米FOMC (2日目) ECB定例理事会 (1日目、金融政策発表なし)
3/20 (木)	日本商工会議所第119回通常会員総会にて黒田総裁講演	TB2M 25,000億円 3/25発行	2月の米中古住宅販売 ECB定例理事会 (2日目、金融政策発表なし)
3/21 (金)	春分の日		

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。